



2022年12月号
2022. 12. 31
第58号
発行：わらびじゆく
笑楽日塾



笑楽日塾便り 12月号



東京オリンピックが一年遅れて開催された一年前の12月には、来年はどんな年になるだろうかとコロナで制限された中であっても、いくつかの期待を持って新しい年を想像していた。自分のことも、体は問題無いただろうか、ゴルフでAge Shootを達成できるか、何かいいことがないだろうかと寒い中、あれこれ空想しながら年賀状を書いていた。予想が的中したのは、大谷のペーブルースを越えた記録だった。毎日興奮した。

ゴルフは84がベストでAge Shootに一打オーバーしてしまい、来年に持ち越しとなった。

しかし、世の中は、世界は、想定外の事ばかりが起こった。

2月にプロ野球のオープン戦が始まって、今年は吉田さんが好きな阪神が優勝するか、大谷はどうなるかと気になっていた。1~2月は私が好きなゴルフ番組もないし、プロ野球もない。静かに歴史の本を読みながら春を待とうと気楽に考えていた矢先に、プーチンがウクライナへ侵攻し、エネルギー問題からインフレになって、アメリカもヨーロッパも経済は停滞し、超円安になって物価が高騰し、それまで遠慮していた業者は一斉に商品の値上げに踏み切った。便乗値上げではないかと思われるような商品もあった。

北朝鮮のキムは何度もミサイルをぶっ放すし、シーチンペンはこれを止めようともせず、自分は禁じられていた3期目を勝手にやってのけた。そのために政敵を次々に倒して文句を言わせない体制を作った。

プーもシーもキムもどうしようもない、外交や話で解決出来そうにない相手だ。戦争をすれば、一般の市民が犠牲になるから、戦争して倒すことは出来ない。この3人が失脚するか死ぬのを待つしか無い。私の希望は、この3悪人が悪運と寿命が尽きるのを待つだけだ。あと10年の辛抱だろう。俺はその時93才だ。老後は穏やかな世界であって欲しい。

春になって、ウクライナのことが気になりながら、大谷が活躍し始めて、毎日興奮しながら愚妻とテレビで観戦していた。ゴルフ界も動き出して、女子で148cm、男子プロで158cmの選手が大活躍して、158cmの俺もまだやれるかもしれないと希望を持った。

8月になって、世の中が真っ暗になった。安部元首相が選挙演説中に凶弾に倒れて、その背景に旧統一教会の存在が明らかになって、国会で法改正することになった。私は歌手の桜田が統一教会に入信して合同結婚式などの宣伝に利用されていた記憶はあるが、弁護士が明らかにした被害実態はとても想像できない、「なぜそこまでやるのか」というあきれむばかりの話の連続だった。しかも、この教会に大物政治家、現在の各界議員が多数加担していた事だ。官僚も事実を知りながら、統一教会を隠す名称変更を認めていた。カルトを制限する法律は出来たが、まだこの問題はこれから先も続いてゆくだろう。

暗い気持ちを更に重くしたのは円安である。日銀の無策が、クロダの失敗が出てしまった。そんな真っ暗な世の中に、ペアッと明るい光を灯し、勇気づけてくれたのはカタールでワールドカップにおけるサムライジャパンの大活躍だった。この一ヶ月は昨年のオリンピック以上に興奮した。

この一年を振り返ると、我が身は静かに83才を迎えたが、日本も世界も激動の一年だった。一年の最後に朗報が入ってきた。5月から取り組んできたテレビ番組の放送が決定した。2023年1月14日(土)BSフジテレビ・お昼の12時から30分番組【鉄道伝説】だ。テーマは貨車。これまで有名な客車や電車等が採り上げられてきた。今回、番組で初めて貨物輸送、貨車が採り上げられることになった。



貨車のことならば設計、原価計算、製造、営業を経験してきた私にとって自慢できる分野だった。紙面の都合で詳細は別の機会にするが、今年の実業日塾記念誌第4号に掲載した40年前のインドネシアでの貨車国産化プロジェクトもその一環である。

先週プロのナレーターによる語りが終わりに、番組審査を経て放送決定の報に接し、直ぐにジャンボ宝くじを買いに行った。筋書きづくり、シナリオ原作、画像収集などを無報酬で担当した7ヶ月間、番組ディレクターと何回も打合せ、修正を繰り返した。どうして、小さな私がこのような大役を引き受けることになったのか、別に機会に。

色々あった今年も今日が冬至。20回続いたオンライン公開講座が3月に終わって、今年は何をやるか未定のまま4月を迎えた。しかし、毎月の定例塾会・第2木曜日に穴を開けることなく塾生の活躍が続いて、12月まで無事に終えることが出来ました。これから記念誌第5号の「活動の記録」をまとめます。

塾生の皆様、この一年、本当に有り難うございました。
2023年もどうか宜しく願い申し上げます。



「報告事項」

1. 笑楽日塾 12月 Zoomオンライン塾会報告

今月は
星広行さんからの「弘法大師 空海」の紹介と逸話、伝説を、
新井邦夫さんからの「中央散歩会」の秋の紅葉巡りの紹介が
ありましたのでご報告致します。

1) 「弘法大師 空海」について 星 広行さんより

弘法大師 空海の
伝説と逸話を訪ねて



2022年12月8日
笑楽日塾 星広行

弘法大師



空海こと弘法大師はなぜ全国に伝説や逸話が残っているのでしょうか。巷間言われているように全国を旅したのなら、いったい何をしていたのでしょうか。日本各地に空海が開湯した温泉が多いことも含め、空海は地質や土木など、理系の知識も人並みはずれており、3か国語を操るスーパースターだった

どなたかが「弘法大師ゆかりのものと、平家の落人部落は全国各地、至るところにある」と言ったそうです。弘法大師には弟子がたくさんいたことが知られていますので、その弟子たちが布教と治水(溜池等)や鉱山探索をしていたのではないかと推測される



弘法とか大師と付いた名前ものは沢山あり、その奇跡というか話題の多くは弟子や孫弟子が係わったものもあると思われます。さらに弘法大師とは全く関係のないことでも、スーパースターである大師の名前を利用すれば拍が付くために使われたようです。

強烈な個性と情熱で布教活動をした弘法大師空海は、青森から鹿児島までの広範囲にわたって名前が残っています。しかし全てを一人で出来るわけもないので、プロデュースだけに係わり「それなら弘法大師がやったのと同じだ」というこ

とから、大師の名前が利用されて伝わった可能性や、「大きな事業だから名前だけ貸した」という可能性もあります。



満濃池

仏教伝来前の庶民に「極楽」だの、「仏様の教え」だとかをいきなり聞かせても、「何を言ってるんだコイツは」となります。そこで土木工事や治水工事を行って災害を小さくしてみせ「この男はスゴい、何でだ」と思わせてから、これは「仏様のお力です」と説教を始めれば、その効果は大変大きなものになります

弘法大師が唐で学んだものは密教の他に土木や建築なども含まれていますが、土木の知識を生かしたものには故郷香川で行った満濃池の補修工事が有名です。この池はその後もさらに改良が進み現在では弘法大師の頃よりもかなり大きくなっているようです



金剛頂寺

唐で学んできた建築技術を生かして次々と寺を創建したと伝えられる弘法大師ですが、四国 88ヶ所第 26 番札所で高知県にある「金剛頂寺（こんごうちょうじ）」も弘法大師が作ったものと伝えられています。

特に、弘法大師のお膝元である四国には、弘法大師が建てたことになっているお寺が大変多くありあり、43 箇所という説もあるようです。

他にも以下の逸話、伝説を星さんより楽しく紹介をしてもらいました。

- ①「二度栗山」伝説
- ②「ごまぼたもち」伝説
- ③「ゴマすり」伝説
- ④「水をあげないお婆さん」伝説
- ⑤「枯れた井戸」伝説
- ⑥「水無川」伝説
- ⑦「独鈷の湯」

弘法大師

意外に多いのが不道徳の罰として水を濁らすというパターンで、「川の渡し場で、強欲な船頭が料金のわずかに足りない客を斬ったことが弘法大師の耳に入ったとたん川から水がなくなり、船頭は夜逃げした。」というような話があります。本来水無川というのは扇状地などで水が地下を流れる場合によくつけられる川の名前で、このような不思議な現象はとりあえず弘法大師のせいにしてしまう傾向があったようです。

新潟県の私の故郷には、弘法大師が旅の途中立ち寄ったのですが、犬に追われてゴマ畑に逃げ込んだら、ゴマの実がはじけて目の中に入り目を傷めてしまった（失明したとの説もあり）。その後私の田舎では火を倒すこととゴマの栽培は禁止されてしまいました。

しかし、私が子供の頃に初めて犬を飼い始めた家が現れましたが、誰からも避難されることもなかったので、時代が変わっていたということでしょうか。



また機会がありましたら宜しくお願いします。ありがとうございました。

完

2) 「中央散歩会」について

新井 邦夫さんより

当日（11月24日）は好天にも恵まれ、「中央散歩会」の皆様と一緒に約10～11キロ（1万8千歩～2万歩）の道のりをのんびり散策出来ました。身近なところで素晴らしい紅葉狩りも出来ました。

また四季折々に咲き誇る花々を想像しその季節ごとに訪れるのも一考ではないかと思いましたがご報告いたします。

コースは以下の通りです。

概略地図

① 戸塚安行駅～②植物振興センター～③興神院～④樹里安～
⑤赤堀用水斜面林保全緑地～⑥密蔵院～⑦安行原自然の森～⑧峯ヶ岡八幡神社



1. 花と緑の進行センター : 多種多様な木々が植林されており四季折々の木々が楽しめます。



2. 興禅院 : 花の寺院ともよばれているようです。



梅、シャクナゲ、花しょうぶ、アジサイ、彼岸花、紅葉など。

特に大きなスダジイの根元には、お地蔵が祀られており、「**地蔵を抱えたスダジイ**」として有名。弁財天——興禅院裏に蛇をご神体とした祠があり各位祈願しました。

3. 弁財天 : 興禅院の一角に蛇を神として崇められ皆で祈願成就しました。



4. 川口緑化センター : 植木類、観賞用樹木などの展示販売 2000 種以上ありました。



緑化全般に関する知識の向上、広報などを指導。即売などイベントも実施。

2 階の「樹里安」で昼食休憩をとりました。

5. 密蔵院：本尊は平将門の念侍仏で慈覚大師作「地藏菩薩像」川口七福神の左甚五郎作「大黒天」も祀られています。



6. 峯が岡八幡神社：平安時代に源経基の創建と口伝されている。

かつては足立郡古田領三か村（現在の、川口市新郷、安行の一部、草加市の一部）の総鎮守であった。ご神体は「木造僧形坐像」鎌倉時代の作（作者不明?）。

胎内には造像時の願文や経文など 36 点が収められている由。神社裏にはスタジイの大木と霊山「御嶽山」を中心に八海山、三笠山と刻まれた大きな石碑が建立されていた。



新井邦夫さんから歴史の勉強をしながらの秋の散策の報告をして頂きました。また、知的散策がまとまりましたらご報告を楽しみにしています。

完



「シニアの風」

（順番制で行います。2023年1月「シニアの風」投稿は 新井 斉さんです）

「歌舞伎の大名跡市川家は

武田信玄の家臣」

先崎 隆

職場の後輩（今年3月退職）といっしょに、先輩の別荘（甲府盆地の南西部にある、人口約15000人の山梨県市川三郷町）に退職祝いを兼ねて招待された。この町は歌舞伎の大名跡市川家のルーツに当たる地である。



今、歌舞伎俳優の「十三代目市川團十郎白猿」の襲名に、この小さな町が沸いている。「市川團十郎発祥の地」の記念碑が市川三郷町の歌舞伎文化資料館（先輩の別荘から歩いて10

分ほどのところにある）の庭に据えられている。市川家の本名、堀越家の家紋が牡丹の花であることから、資料館の周りには牡丹が植えられている。資料館には、歌舞伎に関する資料や、歴代團十郎の紹介、市川家ゆかりの歌舞伎十八番「助六由縁江戸桜」の舞台（11代團十郎）が再現されている。



初代市川團十郎の曾祖父堀越家宣は、武田信玄に仕え、1569年に同行した相州（神奈川県）三増峠の合戦に武功をあげ、その戦功により150貫の地を与えられ、この地に住むことになった。しかし、13年後の1582年に、武田勝頼は、織田信長に攻められ、武田家は滅亡した。主屋を失った堀越家宣は、家族を伴って、下総国幡谷村（現在の千葉県成田市）に居を構えた。その孫が、初代市川團十郎である。

市川家では先祖が甲州出身とは伝えられていたが、詳細は分からなかった。1932年、十代目が家のルーツを探る中で、堀越家の親戚筋に当たる石原家に古文書や系図が残っていることが判明。堀越家宣は戦で手柄を立て、「市川庄上野郷」の資料館が建つ付近に土地を得て屋敷を構えたことも分かった。



↑ 11代團十郎「助六」の舞台再現

江戸時代初期、出雲の阿国が京都で「かぶきおどり」を披露して大盛況となったことが歌舞伎のルーツとされる。その後、主に柔らかみのある演技様式の「和事」（わごと）が特徴的な上方歌舞伎と、豪快で力強い演技「荒事」（あらごと）が特徴的な江戸歌舞伎にわかれて発展。この「荒事」を創始したのが、初代市川團十郎（1660～1704年）だった。初代は子宝に恵まれなかったが、成田山新勝寺にお参りしたところ、子どもを授かったことから、同寺との縁は深い。そんなことから團十郎家の屋号は「成田屋」である。

完



八木 守

十牛図 4段階
得牛（とくぎゅう）

2022年も残りわずかです。良い年でしたでしょうか？
今年の反省も含めて、来年はこうしたい、こうありたいなどの
抱負を年始に皆さん立てると思いますが、インフルエンザ、
コロナなどに注意して良い年をお迎えください。

さて、十牛図も今回で4回目です。
今回は11月号の続きで今、作成中の「十牛図」の第4段階・
得牛（とくぎゅう）の挿絵（水墨画）と第3段階・見牛からの
続きをお話したいと思います。



第4段階 得牛（とくぎゅう）：牛をつかまえる。

十牛図の第4図「得牛（とくぎゅう）」を見てみましょう。「十牛図」といいながら、牛の
全身が描かれているのは、今回が初めてです。

旅人は、牛を探し、足あとを見つけ、牛の姿を見ることができました。牛は自分の心です。
旅人は、牛に縄をかけてつかまえました。でも安心はできません。油断をすれば、牛に引っ
張られてケガをするし、見失ったり、道に迷ってしまいます。

旅人が牛（自分の心）をおとなしくできるのか、それとも牛に引きずられてしまうのか。
お互いを結ぶものは、一本の縄だけです。その牛は、長いこと野外の草むらにかくれていて
気づかなかったですが、今になってようやく会うことができました。

しかし、その喜びの心境は、「牛に出会えた」ということで満足してしまい、かえって牛
に追いつくことを難しくするし、また牛のほうでも、すきをみては香りのよい草を求めて草
むらに逃げていこうとしてしまう。やっとの思いで牛をつかまえてはみたものの、その心は
かたくなで勇猛であり、いまだ野性のままです。この牛を飼いならそうと思うのなら、ま
だまだムチを使って、いましめなければなりません。どうすればいいのでしょうか？

次回は第5段階 牛を飼いならす「牧牛（ぼくぎゅう）」をお届けします。

続く